

R5年度 「生活と福祉Ⅰ」 シラバス	単位数 学科・学年・学級	4単位 第2学年 4組
--------------------	-----------------	----------------

## 1 学習の到達目標等

学習の到達目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、高齢者の自立生活支援と福祉の充実を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。
使用教科書・副教科書等	教科書 「生活と福祉」 (実教出版)

## 2 学習計画及び評価方法等

月	学習内容	学習のねらい・目標	資料・方法 題材・その他
4 5 6 7	1. 健康と生活 (1) 健康の概念 ・健康とは ・高齢社会における健康とQOL ・健康に影響を及ぼす要因 (2) ライフステージと健康管理 ・ライフステージと健康 ・生活習慣と健康 (3) 家庭看護の基礎 全国高等学校家庭科技術検定 【保育造形表現技術3級】受験 【保育家庭看護技術4・3級】受験	○「健康とは何か」について考え、「健康」は、身体的・精神的社会的な面からも、その人の価値観によって異なり、環境や対人関係からも影響を受けるということを理解する。 ○高齢期に至るまでの健康づくりには、ライフステージごとの健康問題の特徴があることを理解し、生活習慣病などを予防するための健康管理について学習する。 ○家庭看護の基礎的な技術と応急手当の要点などについて理解する。 ○作業療法として、描画、折り紙の技術を習得する。 ○家庭看護の必要性和基本的な知識・技術を習得する。 (検温、身体の状態に合わせた衣服の着脱)	教科書・プリント  DVD視聴  医療器具、自助具、ケア用品等
9 10 11 12	2. 高齢化の現状と高齢者の特徴 (1) 高齢化の現状 ・人口の高齢化 ・家族・地域の変化  (2) 高齢者の心身の特徴と病気 ・高齢者の心身の特徴 ・高齢者の病気  (3) 高齢者の生活課題と施策 ・高齢者の生活課題 ・高齢社会に対する施策 (4) 全国高等学校家庭科技術検定 【保育造形表現技術2級】受験 【保育家庭看護技術2級】受験	○日本の高齢人口の推移とその理由について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 ○加齢に伴って変化する高齢者の身体的・心理的・社会的特徴、加齢と病気や認知症との関係について理解するとともに、事故の防止の重要性、認知症への理解と対応などを考える。 ○家族、地域の変化とそれに対応する社会福祉の現状と課題について考えることができるようになる。 ○作業療法として、ハサミの使い方の工夫、切り絵の技術を習得する。 ○家庭看護の必要性和基本的な知識・技術を習得する。 (性別身体の状態に合わせた清拭とおむつ換え)	DVD視聴   医療器具、自助具、ケア用品等
1 2 3	5章 介護・看護の実習と生活支援 1節 介護の実習 1 高齢者体験 2 車いすの移乗・移動の介護 3 歩行介助 4 食事の介護 ・高齢者における食事の意義 ・生活支援のための調理 認知症について知る 認知症サポーター養成講座受講	○高齢者の介護については、高齢者の生活の質を重視する観点から、高齢者自身の希望が尊重され、その人らしい自立した生活を支援することが重要であることを理解する。 ○介護に当たっての配慮事項について理解する。また、麻痺、認知症、視覚障害などがある高齢者の介護の要点や、生活の中でのリハビリテーションについて具体的な事例を通して理解する。 ○認知症患者と家族、地域社会との関わりについて課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。	医療器具、自助具、ケア用品等

- ・ 評価は「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で行います
- ・ 評価の方法は、学習状況、提出物（プリント、ファイル、レポート、新聞）、定期テスト、実習等を総合的に評価します。

R5年度 「生活と福祉Ⅱ」シラバス	単位数 学科・学年・学級	6単位 第3学年 4組
-------------------	-----------------	----------------

## 1 学習の到達目標等

学習の到達目標	健康と生活のかかわりについての学び、高齢者の自立生活支援や介護予防についての考え方、高齢者の福祉と介護についての知識と技術を習得し、高齢者への適切な自立生活支援ができる能力と実践的な態度を身につける。
使用教科書・副教科書等	教科書 「生活と福祉」 (実教出版)

## 2 学習計画及び評価方法等

月	学習内容	学習のねらい・目標	資料・方法 題材・その他
4	1. 生活援助と介護の実習 (1) 生活援助の実習 ・体位変換、ベッド上の体位変換、歩行介助、車椅子の移乗・移動の介護 ・食事の介護、衣服の着脱の介護、身体の清潔の介護、排泄の介護	○高齢者が地域で自立生活を送ることができるよう、調理、衣類の洗濯、掃除、買い物、関係機関等との連絡など、生活援助に関する技術を習得する。また、高齢者の安全な住まい方や衣服、食事、運動などの工夫について実習を通して学びを深める。	教科書、プリント
5	(2) 介護の実習 ・家庭看護の意味 ・バイタルサイン(生命徴候)の見方 ・口腔の清潔、誤嚥と窒息、転倒と骨折、低温熱傷、脱水、熱中症、高血圧低血圧、糖尿病について ・救急救命講習受講	○高齢者にみられる心身の変化に対応し、移動、食事、ベッドメイキングや寝着替・シーツの交換、体位変換、身体の清潔など基礎的な介護技術を習得する。 ○高齢者福祉関係施設の見学や高齢者対象のボランティア活動への参加を通して、高齢者の介護に積極的に取り組む。	医療器具、自助具、ケア用品等
6	(3) レクリエーションの実習 ・レクリエーションの意義と目的 ・高齢者施設のレクリエーション	○高齢者にとってレクリエーションは、身体的、精神的機能の回復に役立つとともに、対人関係を広げ、社会性を取り戻すなどの意義があることを理解する。	
7	全国高等学校家庭科技術検定 【保育造形表現技術1級】受験 【保育家庭看護技術1級】受験	○作業療法として、レクリエーションに取り入れられる造形物の表現技術を習得する。 ○家庭看護の必要性と基本的な知識・技術を習得する。(応急処置)	
9	2. 高齢者福祉の制度とサービス (1) 高齢化の進展と社会福祉 ・社会保障・社会福祉制度のしくみ ・高齢者福祉のあゆみ	○我が国の高齢化の進展状況について理解し、高齢社会への対応に関する施策の概要について学習する。また、社会福祉の基本的な考え方の重要性を認識する。	DVD 視聴
10	(2) 高齢者福祉の法規と制度 ・介護保険制度スタートガイド ・介護保険制度のしくみ	○高齢者福祉の基本的な理念として、老人福祉法や介護保険法について学び、その目的と理念、法律に基づく具体的な施策の概要について理解する。	
11	(3) 保健・医療・福祉サービス ・地域包括ケアシステム ・高齢者支援を支える制度と課題	○介護を要する高齢者には、生活の質の観点から、保健・医療・福祉の統合されたサービスが必要であることを、自治体などで実施されている制度やサービスから具体的な事例を基に理解する。	
12	(4) 地域の医療従事者の講話	○北部地区保健医療について学ぶ。(出張講座等)	
1	3. 生活支援 (1) 生活支援の考え方 (2) 高齢者の販売トラブル	○生命の維持や身体健康だけでなく、精神的にも充実した生活を営むための支援について考える。	
2	4. 授業のまとめ	○授業を通して学んだ知識と技術をまとめ、卒業後の進路に役立てる。	

- ・ 評価は「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」の4つの観点で行います
- ・ 評価の方法は、学習状況、提出物(プリント、ファイルなど)、定期テスト、実習における積極性、実習態度を総合的に評価します。